2026年11月10日

各位

株式会社システナ
（東京証券取引所プライム市場 証券コード：2317）

# 第9回［名古屋］オートモーティブ ワールド出展のお知らせ
## ―AIを活用した開発プロセス、ローカルLLM、無線通信技術でSDV開発を支援 ―

株式会社システナ（本社：東京都港区、代表取締役会長：逸見愛親、以下、システナ）は、2026年11月25日（水）から27日（金）まで、愛知県国際展示場で開催される「第9回［名古屋］オートモーティブ ワールド」に出展します。
本展示では、Super Micro Computer, Inc.（以下、Supermicro社）、株式会社IDY（以下、IDY社）、三重県志摩市（以下、志摩市）との連携により、SDV[1]開発を支える「AIを活用した開発プロセス」「ローカルLLM[2]」「無線通信技術」の3つの観点から、各社・自治体の技術と取り組みをご紹介します。

### ■ 出展の見どころ

SDVの進展に伴い、車載ソフトウェア開発ではシステムの高度化や並行開発への対応とともに、実開発へのAI活用や通信インフラへの対応など、取り組む領域が広がっています。

本展示においてシステナは、開発プロセスの生産性向上を支援するAI活用技術、AI利用の拡大を支える実行基盤の構築と運用、車両と周囲を結ぶ安定した通信環境の整備という3つの領域から、参画する各社・自治体とともに、SDV開発を支援する具体的な取り組みをご紹介します。

### ■ 出展の概要

**開発担当者の判断を支え、開発生産性と品質の向上を図るAI駆動型開発プロセス**

SDVの進展に伴い、車載ソフトウェア開発ではシステムの規模拡大に加え、複数ドメインや機能間の密接な連携、さらには法規適合や認証対応など、取り扱う情報や判断の範囲が広範化しています。それに伴い、要求仕様の理解や設計判断、工程間・機能間の整合性確認、仕様変更に伴う影響範囲の把握など、日々の開発において多岐にわたる確認と対応が進められる中、担当者の知見や経験に依存しやすい側面も生じています。
本展示では、役割を持たせた複数のAIを組み合わせることで成果物作成の支援やレビューの質向上を図る「AIオーケストレーション[3]」と、要求・設計・実装・検証の各工程間の関連性を一貫して管理する「トレーサビリティ」を連携させた取り組みをご紹介します。
仕様変更時の影響範囲の特定や成果物間の整合性確認を支援するとともに、開発過程における判断根拠や知見を蓄積し、将来の開発でも活用可能な再現性のある環境整備を後押しします。担当者による技術的な判断や方針決定をAIが支え、開発プロセスの生産性と品質の維持・向上に貢献する取り組みをご案内します。

**企業のAI活用を支えるローカルLLMと、安全で持続可能なAIインフラ**

生成AIの業務活用が本格化する中、企業には計算資源の確保や運用コストの適正化に加え、機密情報の保護やセキュリティ対策、継続的な保守・運用を含めたAI実行環境の整備が求められています。また、AIの利用拡大に伴い、電力・冷却を含めたインフラの効率的な運用も重要な課題となっています。本展示では、Supermicro社の高性能GPUサーバーを活用したローカルLLMの構築手法をご紹介します。

業務用途やデータの機密性、運用条件に応じたAI実行環境の選択肢を提示するとともに、ブース内ではSupermicro社製サーバーの実機を交え、具体的な活用方法をご紹介します。
セキュリティ面では、StrongKey社の認証・暗号化技術を活用した「StrongKey Tellaro Security Platform (STSP)[4]」と、リスクの可視化から対策・運用までを支援するシステナの「Systena Secure-Link」をご紹介します。
さらに、増大するAI計算需要に対応するインフラの取り組みとして、志摩市と検討を進める「地方分散型グリーンAIデータセンター構想」をご紹介します。高性能なAI計算基盤の整備に加え、システナグループの株式会社ProVisionによる技術サポート、障害対応、保守・運用体制を組み合わせ、導入から安定稼働までを支援する体制の構築を進めています。
システナは、AI実行環境の構築からセキュリティ対策、保守・運用、将来のAIインフラ整備まで、グループ各社の技術と専門性を活かした総合的な支援をご紹介します。

**モビリティ開発・実証を支える高速・低遅延通信ソリューションと電波環境の可視化**

SDVやコネクテッド技術の進展に伴い、車両開発や実証実験では、映像・センサーデータの大容量伝送や、遠隔操作に必要な低遅延で安定した通信が求められています。これらを実現するためには用途に応じた通信方式の選定に加え、研究施設や試験環境の電波状況を把握し、現場の条件に適した通信環境を設計・検証することが重要です。
本展示では、IDY社のエッジゲートウェイと60GHz帯無線技術を組み合わせた、高速・低遅延の通信ソリューションをご紹介します。現場内の映像・音声・制御データの伝送を通じて、遠隔操作などのモビリティ開発・実証への活用を提案します。機器の提供に加え、用途や設置環境に応じた通信構成の設計・検証を支援します。
また、研究施設や工場などの施設内における通信環境の把握に向け、電波環境の調査・可視化技術をご紹介します。対象エリアの電波強度などを計測・可視化し、通信が届きにくい場所や電波状況のばらつきを把握することで、機器の配置や通信環境の改善、実証計画の検討を支援します。

## ■ 第9回［名古屋］オートモーティブ ワールド 開催概要

会場　：愛知県国際展示場 ホールC～F
会期　：2026年11月25日(水)～27日(金) 10:00～17:00
住所　：〒479-0881 愛知県常滑市セントレア5丁目10番1号
アクセス　：名鉄常滑線・空港線「中部国際空港駅」より徒歩5分
展示会HP　：https://www.automotiveworld.jp/nagoya/ja-jp.html

【システナ出展場所】




## ■ 三重県志摩市について

志摩市役所　：〒517-0501 三重県志摩市阿児町鵜方3098-22
市長　：橋爪　政吉
URL　：https://www.city.shima.mie.jp/ (HPトップ)

志摩市 Shima City

## ■ Super Micro Computer, Inc.について

会社名　：Super Micro Computer, Inc.
代表者　：社長兼最高経営責任者（CEO）チャールズ・リアン（Charles Liang）
URL　：https://www.supermicro.com/ja/ (企業HPトップ)
事業内容　：サーバー及びストレージシステムの設計・製造・販売、
AI/GPUサーバーソリューションの開発、サーバー構成部品の開発
アプリケーションに最適化されたトータルITソリューションの提供
お問い合わせ先　：Super Micro Computer, Inc.
https://www.supermicro.com/ja/about/contact

SUPERMICRO

## ■ 株式会社IDYについて

| | |
|---|---|
| 会社名 | ：株式会社IDY |
| 代表者 | ：代表取締役　本田　和明<br>博士（システム情報科学） |
| URL | ：https://idy-design.com/（企業HPトップ） |
| 事業内容 | ：産業用通信機器、5G・LTEゲートウェイ、アンテナおよび<br>通信ソリューションの企画・開発・製造・提供 |
| お問い合わせ先 | ：株式会社IDY<br>https://idy-design.com/ja/contact |

## ■ 株式会社システナについて

| | |
|---|---|
| 会社名 | ：株式会社システナ |
| 所在地 | ：〒105-0022 東京都港区海岸1丁目2番20号 汐留ビルディング14F、16F |
| 代表者 | ：代表取締役会長 逸見 愛親 |
| 資本金 | ：15億1,375万円（2026年7月1日現在） |
| 設立 | ：1983年3月 |
| 上場金融商品取引所 | ：東京証券取引所プライム市場(証券コード：2317) |
| URL | ：https://www.systena.co.jp（企業HPトップ） |
| 事業内容 | ：自動運転・車載システム、社会インフラシステム、<br>Webビジネス向けシステム、IoT関連システムやロボット・AI、<br>モバイル機器等のソフトウェアの開発・品質検証、金融機関向けシステム開発、<br>システム運用・ヘルプデスク、IT商品の販売及びシステムインテグレーション、<br>クラウドサービスの提供やゲームコンテンツの開発など、<br>システムの企画・設計・開発・導入から保守・ユーザーサポートまでの<br>トータルソリューション・サービスを提供 |
| お問い合わせ先 | ：株式会社システナ<br>https://www.systena.co.jp/contact/solution/ |

このお知らせに記載されている会社名及び製品・サービス名は、各社の登録商標または商標です。

---

[1]SDV（Software Defined Vehicle）：ソフトウェアによって機能や性能の更新・拡張が行われる次世代の車両・自動車の概念。

[2]LLM（Large Language Model）：膨大なデータを学習し、高度な言語処理や生成等を行う大規模言語モデル。

[3]AI オーケストレーション：異なる役割を持つ複数の AI を連携・統合し、一連のタスクを効率的に自動・半自動で実行・管理する仕組み。

[4]「StrongKey Tellaro Security Platform (STSP)」は、StrongKey, Inc.の製品または商標です。